

請 願 文 書 表

(教育委員会)

受 理 番 号	1 1 1 1	受 理 年 月 日	令 和 3 年 9 月 28 日
件 名	小学校のような全員制の中学校給食の実施		
要 旨	<p>日本の貧困は、食べる物に困るような絶対的貧困ではなく、相対的な貧困であると言われてきたが、コロナ拡大によって低所得世帯の子供たちを苦しめているのは、もはや絶対的貧困である。厳しい経済状況から空腹を我慢して長時間過ごすという子育て世帯が増えている。私たちは、先日、子どもの貧困について調査・研究しておられる東京都立大学教授の阿部彩氏から話を伺った。2017年の調査によると、困窮に陥っている子育て世帯の中で、食べ物を満足に食べられていない世帯は7割も占めていたが、コロナ拡大で更に困窮層が増え、子供の食を家庭の問題としておくことはもうできないと同氏は訴えられた。</p> <p>私たちは、この間、中学校給食アンケートに取り組み、509人の方から回答を頂いた。中学生の子供がいる方々の中で、選択制デリバリー弁当給食を利用している人の割合は27パーセントであった。この数字は、京都市が実施した調査とほぼ同数である。利用している理由は、栄養バランスが考えられているからが44.1パーセント、次いで、仕事が忙しく、弁当を作るのが大変が38.2パーセントであった。利用していない理由は、子供が嫌がるからが72.7パーセントで、なぜ子供が嫌がるのかという理由は、クラスで給食を食べている生徒が少ないからが54.7パーセントと半数を超えた。</p> <p>自由記入欄では、全員給食だと周りの目を気にせずみんなで食べられる。上の子のときはクラスの3分の1が取っていたが、今は僅かで、子供は恥ずかしく全然取る気がない、働く母親にとって毎日のお弁当作りは苦痛、小中一貫校との格差を感じるなど、454件寄せられた。他府県の方からは、子供が中学生になったら京都市に住みたいと考えているが、全員制の給食でないなら、京都市に住むのも考え直さないといけないとの意見も寄せられた。</p> <p>全国の政令指定都市では、京都市と同じ選択制デリバリー弁当給食を実施していた堺市、神戸市が全員制に移行することを発表し、実施に向けての準備が進められている。そして、横浜市でも、先日、市長が自校、親子方式を採り入れ、全員制に移行すると議会で表明した。</p> <p>全員制の給食は、全ての子供にとって食のセーフティネットである。お昼になると、みんなで同じ温かい給食が食べられる安心感は、コロナ禍の今こそ、京都市の中学生にも欠かせないものだと思う。そして、給食を通じた食育は、子供たちが食を通じて命の尊さと地域の豊かさを学ぶ大切な機会であることは、言うまでもない。</p> <p>コロナ禍の今こそ、京都市も全員制に移行すべきではないだろうか。については、小学校のような全員制の中学校給食を実施することを願う。</p>		
請 願 者			
紹 介 議 員	河合ようこ, 玉本なるみ, とがし 豊, 井上けんじ		
付 託 委 員 会	教 育 福 祉 委 員 会		